

生徒指導だより

10号

令和5年10月10日

「松中美人」

自ら学び、心身を鍛える生徒 自他を尊び、誠実に生きる生徒 夢を持ち、くじけずに努力する生徒

10月の生活目標

授業を大切にしよう

- ・チャイムスタート
- ・授業あいさつ
- ・授業集中



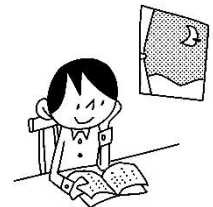
STEP1:自分自身を振り返ろう

◎とてもよくあてはまる ○まああてはまる △あまりあてはまらない ×あてはまらない

項目	評価
1. 毎時間、自らチャイムスタートができています	
2. 毎時間、自ら積極的に授業のあいさつをしています	
3. 毎時間、授業に集中して、学びを深めています	

STEP2:授業を大切にするために、10月に自分が意識的に取り組むことを決めよう

秋は“読書の秋”とも言われ、落ち着いて物事に取り組むのに適した時期です。50分の授業をどう取り組むかによって、学習の成果は変わってきます。また、授業を大切にする姿勢が整うと、自分自身の生活や心も整ってきます。生活や心が整うと、自分自身を深めたり、高めたりすることもできます。“聴くこと”“考えること”“伝えること”が広がると、メリハリが生まれ、豊かな学びや人間関係が生まれていきます。そこで、10月は全校生徒が「授業を大切にする」ということに取り組みましょう。「授業を大切にする」という目標は、少し大きいので、一人一人が意識的に取り組むことを決めましょう。小さなことの積み重ねが、大きなことにつながっています。STEP1の3つができていない生徒はまずそこから。できている生徒は、「授業中に積極的に発言する」「予習をして授業に臨む」など発展的なことに取り組みましょう。



<授業を大切にするためにあなたが取り組むこと>

STEP3:決めたことを実際に取り組もう

登下校についての再確認

○車での送迎場所○

- ・正門前で乗り降りは禁止です。学校前の道路が渋滞し、地域の方々のご迷惑になりますのでご協力下さい。登下校に乗降車できる場所は下の通りです。

	登校	下校
学校前	×	×
2体駐車場	×	○
西川通り側	○	○

- ・送迎の連絡については、事前に、家庭内で相談しておき、活動後に電話連絡をしないで済むようにしておきましょう。*帰宅前に公衆電話前に長い列ができています。

○部活動○

- ・10月に入り、暗くなるのが早くなっています。部活動が終わったらすぐ下校しましょう。



冬季の服装についての確認

<制服の下に着てもよいもの>

- ・制服の胸元、袖、裾から出ない厚手の下着、セーター、トレーナーを着用することは可能です。色は黒、紺、グレー、茶、白のものを着用してください。ただしセーター、トレーナーで過ごすことは不可とします。

<防寒具>

教室に入ったら、防寒具は着用せず、廊下の個人のフックにかけましょう。

- ・コート、ウインドブレーカー、マフラー、手袋等を着用してもよいです。
*パーカーやフリースは防水効果がないので不可とします。
- ・部活動で購入したウインドブレーカーは着用してもよいです。
- ・黒色のタイツやレギンスを着用してもよいです。
- ・登校中に限り、女子は合服の上に防寒着を着用してもよいです。ただし男子は着脱が可能であるため、学生服を着用した上で防寒着を着て下さい。
- ・女子は校内で寒い場合は冬服の上に体操服を着用してもよいです。ズボンは不可とします。ただし、制服を正しく着ていること（名札、校章組章、ネクタイなど）。着用することを担任の先生に伝えることとします。

<外履き>

- ・降雪時や積雪時は、安全で防寒、防水を目的とした実用性のある長靴やスノトレ、ブーツ等を使用してもよいです。
*学校推奨冬季通学用スノトレ（商品名:教育シューズ 色:白と黒、反射板付、4cmまでの防水加工）については市内の制服販売店で取り扱っています。
- ・華美なもの、かかとの高いもの、ひもの編み込みが長いものなどは不可とします。